

特別講演概要

演 題 「科学で日本ワインの品質を上げる」

講 師 山梨大学大学院総合研究部附属ワイン科学研究センター長

奥田 徹 氏

■ 講演内容

エタノール濃度だけを考えるなら、ワインの製造は難しくはありません。しかし、我々はワインに「おいしさ」を求めるので、ワイン製造は急に難しくなります。消費者は「完璧なバランス」だけでなく「自然」であること求めています。「化粧」ではなく「素材」すなわち原料ブドウの良さが大切なのです。このことに気が付いてから、日本のワインは品質を急速に上げ、大変美味しくなりました。それでも、「失敗」は見受けられます。「失敗」の原因は、原料ブドウ栽培、微生物汚染、酸化・還元から、ブランド化、デザインなど多岐にわたりますが、「失敗」の原因が分かれば、「成功」への近道になります。このためには科学的にワインを捉えることが重要になります。本講演ではワイン製造の裏側、日本ワインの品質を上げる努力についてご紹介したいと思います。

■ 講師経歴・受賞

経歴

愛知県名古屋市生まれ

1993年3月 北海道大学大学院農学研究科博士後期課程（農芸化学専攻）修了

1993年4月 山梨大学工学部 助手

2009年10月 山梨大学医学工学総合研究部 教授

2012年4月 山梨大学大学院総合研究部 生命環境学域 教授（現職）

2012年4月 山梨大学大学院総合研究部附属ワイン科学研究センター長（現職）

2020年4月 山梨大学生命環境学部長・学域長（現職）

アメリカブドウ・ワイン学会日本支部（日本ブドウ・ワイン学会）事務局長

日本ワインコンクール実行委員会会長